

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 25 年 7 月 4 日 (2013.7.4)

【公開番号】特開 2012-25380 (P2012-25380A)  
 【公開日】平成 24 年 2 月 9 日 (2012.2.9)  
 【年通号数】公開・登録公報 2012-006  
 【出願番号】特願 2011-105476 (P2011-105476)  
 【国際特許分類】

**B 6 0 C 11/12 (2006.01)**

【F I】

B 6 0 C 11/12 A

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 5 月 16 日 (2013.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

前記サイブの中央部を中心としたサイブ長さの 20% の領域における前記凸部の設置密度 B とサイブ壁面の全領域における前記凸部の設置密度 S との比  $B/S$  が 105 [%] ( $B/S$ )  $\times 100$  200 [%] の範囲内にある請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の空気入りタイヤ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、この発明にかかる空気入りタイヤは、前記サイブの中央部を中心としたサイブ長さの 20% の領域における前記凸部の設置密度 B とサイブ壁面の全領域における前記凸部の設置密度 S との比  $B/S$  が 105 [%] ( $B/S$ )  $\times 100$  200 [%] の範囲内にある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

[ 変形例 2 ]

また、この空気入りタイヤでは、サイブ 1 の中央部を中心としたサイブ長さ W の 20% の領域における凸部 2 の設置密度 B と、サイブ壁面の全領域における凸部 2 の設置密度 S との比  $B/S$  が 105 [%] ( $B/S$ )  $\times 100$  200 [%] の範囲内にあることが好ましい (図 5 参照)。かかる構成では、サイブ 1 の中央部における凸部 2 の設置密度 B が大きく設定されるので、タイヤ制動時に凹凸部 2、3 が噛み合うことにより、サイブ 1 の中央部における陸部 10 の剛性が高められる。これにより、サイブ 1 の底上げと同様の効果が得られる利点がある。